

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2019-180714 (P2019-180714A)

【公開日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-043

【出願番号】特願 2018-74471 (P2018-74471)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 28 日 (2021.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、
設定された前記設定値に応じて異なる割合により前記有利状態に制御することを決定可能な決定手段と、

設定された前記設定値を特定可能な設定値情報を送信可能な情報送信手段と、
前記情報送信手段から受信した前記設定値情報にもとづいて、設定された前記設定値を示唆可能な示唆演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、

前記演出実行手段は、

前記設定値情報を正常に受信できなかった場合、遊技者にとって有利度が低い所定の
前記設定値に対応した割合により前記示唆演出を実行可能であり、

遊技状態が所定状態の場合、特定の前記示唆演出の実行を制限し、前記所定状態でない場合、特定パターンの可変表示において前記示唆演出を実行可能であり、

前記示唆演出の演出態様として、遊技者にとって有利な前記設定値である可能性があることを示唆する第 1 演出態様と、該第 1 演出態様と異なり、遊技者にとって最も有利な前記設定値であることを示唆する第 2 演出態様と、を含み、

前記演出実行手段は、遊技者にとって最も有利な前記設定値が設定された場合、前記第 1 演出態様の前記示唆演出を前記第 2 演出態様の示唆演出より高い割合で実行する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な構成され、設定された設定値にもとづいて有利状態の制御を実行可能な構成されたパチンコ遊技機として、例えば、特許文献 1 に記載されたものがある。特許文献 1 には、変更前後の設定値に対応する変動停止コマンド（設定値指定コマンド）を主制御基板から演出制御基板に送信し、その変動停止

コマンドにより得られる変更前後の設定値にもとづいて、キリン、ゾウ、ライオンの３種類のキャラクタに対応する３種類の演出パターンによる表示を行うことが記載されている。

°

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

【特許文献１】特開２０１０－２００９０２号公報

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

しかしながら、特許文献１に記載の遊技機にあっては、設定値情報（設定値指定コマンド）が正常でないときに誤った示唆演出が実行されてしまう可能性があり、設定された設定値にもとづいて有利状態の制御を実行可能に構成した遊技機において、却って遊技に対する興趣を低下させてしまうおそれがある。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、設定された設定値にもとづいて有利状態の制御を実行可能に構成した遊技機において、遊技に対する興趣の低下を防止できるようにすることを目的とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

（Ａ）上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、
可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、
設定された前記設定値に応じて異なる割合により前記有利状態に制御することを決定可能な決定手段と、
設定された前記設定値を特定可能な設定値情報を送信可能な情報送信手段と、
前記情報送信手段から受信した前記設定値情報にもとづいて、設定された前記設定値を示唆可能な示唆演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、
前記演出実行手段は、

前記設定値情報を正常に受信できなかった場合、遊技者にとって有利度が低い所定の
前記設定値に対応した割合により前記示唆演出を実行可能であり、

遊技状態が所定状態の場合、特定の前記示唆演出の実行を制限し、前記所定状態でない場合、特定パターンの可変表示において前記示唆演出を実行可能であり、

前記示唆演出の演出態様として、遊技者にとって有利な前記設定値である可能性があることを示唆する第１演出態様と、該第１演出態様と異なり、遊技者にとって最も有利な前

記設定値であることを示唆する第 2 演出態様と、を含み、

前記演出実行手段は、遊技者にとって最も有利な前記設定値が設定された場合、前記第 1 演出態様の前記示唆演出を前記第 2 演出態様の示唆演出より高い割合で実行する、ことを特徴とする。

(1) 他の態様に係る遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 ）であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（例えばリーチ演出）を実行可能な示唆演出実行手段（例えば演出制御用 CPU 120 ）と、

前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段（例えば演出制御用 CPU 120 ）と、を備え、

前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である（例えば図 9（D）、（F））。

このような構成によれば、演出効果を高めることができる。